

# 宮崎はるお通信

～みんなの“宮崎”晴ればれ“はるお”～

発行日：2018年11月20日



～安全・安心の街づくりを目指して～

## 石神井公園（水辺観察園）の 「かいぼり」を実施！

ボート池で釣りをされている区民の方から

『池の水が濁り、魚（在来魚）も少なくなっている。どうにかして欲しい。』

と、ご相談を受けました。

**宮崎はるお** はすぐに小林けんじ都議会議員と連携し、都議会（2017年12月）練馬区議会（2018年1月）で石神井公園の「かいぼり」を行い、水質改善と外来種の駆除をすることを提案しました。

その結果、11月17日（土）に区民参加で初の石神井公園（水辺観察園）の「かいぼり」が実施されました。

『今後は、ボート池、三宝寺池での実施に向け取り組んでまいります！』

**※かいぼり：水質改善や在来種の保護、外来種の駆除を目的に池から水を抜き生物を採取、在来種、外来種に仕分け、池底を干した後、水を入れ在来種を戻す作業。**

平成30年11月25日

公明新聞

東京・山梨版 4面

東京都が石神井公園（練馬区）で“かいぼり”実施

練馬区にある都立石神井公園の水辺観察園で17日、“かいぼり”が実施された。かいぼりは、これまで都立井の頭恩賜公園で3回行われ、都によると絶滅したとされていた在来種の水草が60年ぶりに復活するなどの効果が見られているという。公明党の小林健一都議と小川幸治、宮崎晴雄の両練馬区議は石神井公園に足を運び、作業を見守り、関係者と意見交換した。

オオクチバスなど採取



都の担当者と意見进行す小林都議（左から2人目）と小川（左隣）、宮崎（右隣）両区議



